

「情報」×「科学コミュニケーション」を軸足に広がる、多彩な将来の選択肢

科学技術を分かりやすく世の中に伝え、社会との橋渡しができる人材は、
科学技術が高度化し、情報があふれるデジタル社会において、多くの業界から求められるでしょう。

卒業後の進路

大学院進学

理学研究科科学教育専攻のほか、幅広い理学分野の専攻へ

(例)データサイエンスを武器に、「教育」を定量的に分析する研究者に

官公庁・地方自治体

(例)行政機関で、データに基づいた科学政策の立案や市民への発信を担当

想定される就職先

中学校・高等学校などの教育関連

(例)STEAM教育とアクティブラーニングで、生徒の興味を引き出す高校教員に

テレビや新聞などのマスメディア

(例)サイエンスライティングを身につけ、新聞社で最先端の科学技術をわかりやすく社会へ

メーカーや研究開発型ベンチャー企業

科学館・博物館

教えて! 科学コミュニケーション学科 Q&A

Q どこで学びますか?

A 東京・神楽坂キャンパス
(1~4年:入学定員80名予定)に通います。

東京の中心部に位置する神楽坂キャンパス。通学だけでなく、学修や研究に必要な関係機関などへの交通アクセスも極めて便利で、その立地の良さが大きな魅力となっています。真理を探究する理学部と科学的アプローチで学ぶ経営学部からなる「サイエンスキャンパス」として整備されています。

都心ならではの学生生活を味わうことができるほか、学問と社会とのつながりが実感できるキャンパスです。

KAGURAZAKA CAMPUS



Q どんな資格が取れますか?

A 教職課程を履修することで、
教員免許が取得できます。

中学校教諭一種免許状[数学] /
高等学校教諭一種免許状[数学・情報]
中学校教諭一種免許状[理科] /
高等学校教諭一種免許状[理科・情報]

※申請予定。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

Q 理系には進みたいのですが、将来について
明確な目標がなくても大丈夫ですか?

A もちろん大丈夫です!

「科学コミュニケーションを学びたい」「教員やメディアとして科学を伝えたい」という明確な目標を持つ方はもちろん、「理系の幅広い学問に興味がある」「大学で何を専門に学ぶべきか迷っている」という方にも、本学科はぴったりです。

科学コミュニケーション学科では、理学を幅広く学びながら、科学を伝える力を育むカリキュラムを用意しています。4年間の学びの中で、自分に合った分野や将来の目標を見つけられるはずです。

東京理科大学 理学部第一部

科学コミュニケーション学科

DEPARTMENT OF SCIENCE COMMUNICATION

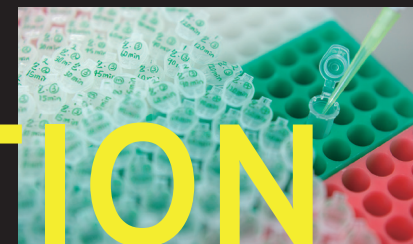
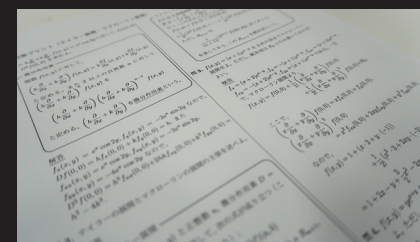
科学技術を広く社会に「伝える」人材を育成

情報技術を活用し

高度なデジタル社会において

SCIENCE COMMUNICATION

科学コミュニケーション × 情報・データサイエンス × 数理・理科(物理学、化学、生命科学)



STARTING IN 2026.4

DSC

東京理科大学 理学部第一部

科学コミュニケーション学科

Department of Science Communication

入試情報はこちら

tus.ac.jp/admissions/



問い合わせ先 東京理科大学 入試センター

〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 Tel 0120-188-139

オリジナルサイト



YouTube



東京理科大学

202508(20,000)2版発行

養成する人材像 科学コミュニケーション学科で身につくチカラ

確かな理学の知識に立脚し、高度な情報・データサイエンス、サイエンスコミュニケーションの専門知識を活用することで、幅広い科学を多面的に伝える能力を身につけます。

多くの情報があふれるデジタル社会では、その真偽を見極め、社会的課題を解決することが求められます。多様な立場の人たちに、科学をどのように伝え、議論するのか——科学と社会をどのように繋いでいくのか——世界が変革期にある中、今まさに求められている学科です。

こんな人にオススメ



学びのポイント

01 科学を全体的に捉え「伝える」ことを学ぶユニークな科目群

本学科では、まずは、理学を広く学ぶカリキュラムを展開しています。1年次の学修では、情報・データサイエンス、科学コミュニケーション、数学、物理学、化学など幅広い基礎必修科目を全員が学び、さらに、STEAM*科目などを通して、科学を全体的に捉える能力を身につけます。また、3年次のサイエンスライティングなどの授業を通して、科学を「伝える」能力についても実践的に学んでいきます。



※STEAM: 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術 (Arts)、数学 (Mathematics) を統合的に学ぶ教育

02 全学生がデータサイエンスを学ぶカリキュラム

科学コミュニケーションを実践するにあたっては、高度な情報学・データサイエンス等の専門知識・技術を修得し、これらデジタル技術を活用する能力が求められます。本学科では、リテラシーから応用基礎レベルまで、データサイエンスを学ぶ科目を1年次から全学生が履修します。更に興味を深めたい学生には、エキスパートレベルの情報・データサイエンス科目も用意しています。



03 3つの専門分野から自分に合ったカリキュラムを柔軟に選択

2・3年次には「情報・データサイエンス」「数理(数学)」「理科(物理学、化学、生命科学)」の3つの専門分野の中から、自分が興味を持っている分野を選択できます。全学生が学ぶ「情報」×「科学コミュニケーション」の土台をもとに、各分野の知識を深掘りすることで、本学科でしか身につけることのできない専門性を養うことができます。



PICK UP 01 | 「情報」×「科学コミュニケーション」の力で高度な情報・デジタル人材を育成する充実したカリキュラム

科学コミュニケーション科目群

科学コミュニケーション1

「科学コミュニケーション」って何を学ぶの? 理論と実践の両面から、自ら科学コミュニケーションの実践者となるための基礎を作ります。



科学技術とELSI

AIやクローン技術のように倫理観が問われる技術の台頭で、科学を技術的に正しく伝えるだけでなく、倫理的・法的・社会的課題 (Ethical, Legal, and Social Issues) と絡めていかに扱うかが重要になります。本授業では、最先端科学の倫理的ジレンマや法的規制について議論します。



サイエンスライティング基礎

難解な専門分野の科学的内容を、いかに相手にわかりやすく伝えるか。実際に自分で文章を書きながら「伝わる」表現を学びます。



STEAM実験

グループで実験に取り組みながら、STEAMの知識を総動員して課題にあたり、実社会での問題発見や問題解決方法を見出す能力を育成します。



情報・データサイエンス科目群

データサイエンス・AI応用基礎

いまやあらゆる業界でビッグデータを収集できるようになりましたが、重要なのはそれをどう読み解き、課題の特定や解決につなげるかです。ビッグデータの分析・解析にAIを活用することでビッグデータの利活用の幅が広がります。本授業では実践的なプログラミング処理、AIの構築・運用などを学びます。



1年次

2年次

3年次

4年次

科学コミュニケーション
×
情報・データサイエンス

PICK UP 01
全学生が必ず学ぶ

卒業研究

4年間の集大成として、自ら選んだ研究テーマに挑む

PICK UP 02
3つの専門分野から選択

情報・データサイエンス

数理

理科(物理学、化学、生命科学)

PICK UP 03

PICK UP 02 | 3つの専門分野

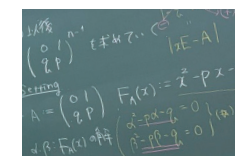
情報・データサイエンス分野

全学生が学ぶ基礎に加えて、より高度な情報学やデータサイエンス、AI・機械学習などについての理解を深めます。理論的基盤と実践的スキルをバランスよく身につけることができます。



数理分野

現代数学の基礎から応用までを体系的に学べるよう、解析学、幾何学、代数学を中心に多様な分野を幅広く学修するとともに、数学の社会的応用についても学びます。



理科分野

物理学、化学、生命科学の各分野について、基礎理論を学ぶ科目から、実験を通じた実践的な科目まで網羅的に学ぶことで、分野の理解を深めます。



PICK UP 03 | 卒業研究

4年次には研究室に配属され、卒業研究に取り組みます。自分で選んだ研究テーマに対して、これまで学んできた情報学・データサイエンスや科学コミュニケーションの知識を活かすとともに、研究室の垣根を越えた、分野間のコラボレーションも積極的に行えるよう推奨します。

研究キーワード例

科学コミュニケーション 情報科学
数理科学 データサイエンス 物理学
化学 生命科学 STEAM教育
教育工学 学習科学 認知科学
教育心理学 心理学 数学教育
Learning Analytics 理科教育